

KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼



湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だと感動しました。「JAゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれます様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。

イメージデザイナー スワン

謹賀新年



撮影：柴田 勉さん（錦町）

2015.1

vol.
125

平成27年度 新年にあたり

湧別町農業協同組合

代表理事組合長

友澤 勇 司



新年あけましておめでとうござい
ます。

初春の輝きと希望の年を、ご家族
の皆様とともに迎えられる事に心
からお慶び申し上げます。

広報誌が皆様に届くころには、
衆議院選挙の結果、新たな政権が
始動している頃でしょう。活力あ
る地方を創出し、農業振興政策に
全力を注いでいただける事を期待
いたします。

また、重要五品目を聖域とした
TPP交渉は、守秘義務を理由に
情報ほとんど伝えられておらず、
北海道農業は重要五農畜産物のい

ずれかが欠けても大きな打撃を受
けるとともに、地域経済に大きな
影響を及ぼす事となる交渉である
事を主張し続けなければなりません。

二十六年度は春耕期から天候に
恵まれたこともあり、酪農・畑作
とも当初計画を上回る成果を残す
ことが出来たことは、組合員の皆
さんが意欲的に経営に取り組んで
いただいた結果と受け止めておりま
す。

生乳生産は着実に増産に向けた
経営転換を進めることが課題であ
り、生産基盤の維持・拡大を大き
なテーマとして、JAの積極的な
支援と行政機関との連携を密にし
ていかなければなりません。

施設整備の支援、昨年度の生乳
増産事業の有効活用、草地整備事
業、乳質向上への指導の継続、耕
畜連携を推進し、畑作物の安定生
産等、所得の向上が急務でありま
す。

組合員の年齢構成を考えると、
世代交代がピークの時期であり、
親子間継承、新規就農者の経営継
承について、意欲を持って経営が
出来る環境をどう整備するか、ソ
フト・ハード面で取り組まなけれ
ばならない課題であります。

急激な為替の変動による生産資
材、燃油の高騰、電力値上げ、消
費増税と、経済社会の荒波を乗り
越え安心安全な農畜産物を生産す
る責任を果たすため、JAへの結
果を願うところです。

JA中期経営改善計画は、改善
が前進しており、見直し計画を作
成し、組合員の皆様に示し更なる
JAの健全経営を目指し、自己改
革に取り組み、存在基盤である地
域を守る責務を果たさなければな
りません。

組合員、役職員が連携し、平成
二十七年が健康で豊穡の年となり
ますようご祈念申し上げ、新年の
ご挨拶と致します。

謹賀新年

湧別町農業協同組合

代表理事組合長

副組合長

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

友澤 勇 司

坂東 守

畑 正保

羽田 英夫

上田 範幸

松下 真二

佐藤 茂

中塚 和彦

野田 直人

清水 昭二

羽田 剛

加藤 誠一

高橋 武

柴田 勉

吉田 誠

岩佐 浩之

斉藤 浩一

越智 祥子

水谷 利子

長岡みどり

JAゆうべつ町青年部

加藤 勇

本間 義輝

如澤 厚

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター
遠軽支所 支所長 五十嵐強志



新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より普及事業に対しまして、農業者・関係機関の皆様からご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

農業をめぐる情勢では、円安が一段と進んで購入飼料や生産資材が高騰し、経営への影響が拡大しています。農政ではTPP交渉の行方が不透明で、農業はもとより地域経済への影響が懸念されています。酪農をめぐる情勢では、全道的に生乳生産が伸び悩んでおり、増産に向けた対応が急がれるところです。

昨年の湧別町の気象及び作況を

振り返りますと、融雪期は平年より10日遅れとなりましたが、4月中旬以降の好天では種・植え付けはほぼ順調に進みました。5月から9月までの平年対比では、積算平均気温105%、降水量138%、日照時間102%と降水量は多めで、7月下旬～8月に集中しました。年間通じて、大きな災害の無い年でありました。

秋まき小麦では融雪遅れで幼穂形成期は遅れ、5月下旬以降の高温で出穂・成熟は早まりましたが、収量は平年並以上を確保することができました。27年産に向けては融雪促進と起生期以降の生育に応じた栽培管理が重要となります。

てん菜のは種(直播)・移植作業は順調に終了し、病害虫の被害も少なく、収量・糖分ともに平年より高めで推移しています。

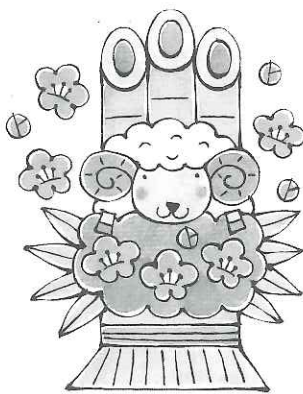
飼料用とうもろこしの登熟はほぼ黄熟期に達して、平年を上回る収量となりました。すす紋病、根腐病は少発生に止まりましたが、出穂期以降のほ場観察が肝心です。出穂期以降肥料切れとなっているほ場が見受けられ、基肥の量、追肥の検討が必要です。

牧草は融雪の遅れ、6～7月の

少雨で生育が心配されましたが、1番草は平年並、2番草はやや多めの収量となりました。きめ細かな飼料給与管理を行い、生乳生産につなげられるようお願いいたします。

湧別町では関係機関の連携によつて、自給飼料の生産性アップを目的とした草地更新や土壌改良を進めるための支援、次世代を担う人材の育成確保に向けた第3者継承の動き、経営規模拡大への支援対応など、将来に渡って希望ある農業経営が築ける取り組みへの支援が進められています。

普及センターでは、活力ある地域農業づくりのために職員一同で取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝と豊穡の秋を共に迎えられることを心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。



酪農生産部会

部長 多田 智弘

副部長 小野 悟

畑作生産部会

部長 井上 豊

副部長 三浦 孝司

湧別町麦生産組合

組合長 遠藤 義美

副組合長 三浦 孝司

副組合長 渡辺 豊

流水とうもろこし生産組合

組合長 井上 豊

副組合長 阿部 善夫

副組合長 加茂 一郎

農作業受委託連絡協議会

会長 中谷 友則

副会長 上田 範幸

副会長 小野 信一

湧別町ホルスタイン改良同志会

会長 山田 和弘

副会長 越智 大輔

湧別農協青色申告会

会長 山崎 伸司

副会長 畑 亮一

酪農ヘルパー組合

組合長理事 久保 隆幸

副組合長理事 山崎 伸司

湧別町乳牛検定組合

組合長理事 本間 保利

副組合長理事 多田 健一

平成27年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるものの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成26年は午年（うまどし）でありましたが、農業・JAをとりまく個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。かかる情勢の中、我が国の農業をはじめ国民生活のさまざまな面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われてい

ます。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳会合では、結果として大筋合意には至らず合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも判断を許さない情勢にあります。国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。その後JAグループ北海道として全道の組合員に参加いただいたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」・「時代に即

した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン（実行計画指針）」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成をはかりながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進してまいりたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展をはかっていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。併せて、いまや農業は国民の理解

と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取り組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追及し実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年（ひつじどし）です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切にし、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

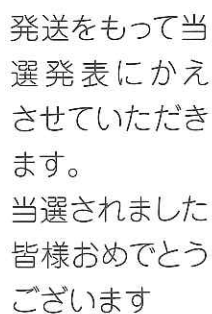
[illegible]

1日皆貯金運動

11月19日に農協法が公布された事を記念し、一日皆貯金運動を11月13日から19日までの一週間実施し、多くの方々にご協力を頂き終了しました事をお礼申し上げます。

11月22日、農協事務所において監事3名による厳正なる抽選を行い、合計70本の賞品当選者が決定いたしました。

当選者の方には、12月末日までに賞品の

[illegible]

オホーツクＪＡ青年部研修大会 ＪＡ青年部活動実績発表会

11月13日、温根湯にて第44回オホーツクＪＡ青年部研修大会と活動実績発表大会が行われ、ＪＡゆづべつ町青年部から6名の部員が参加しました。

活動実績発表大会には、ＪＡゆづべつ町青年部の他3ＪＡが参加し、当青年部は「私たちの青年部活動」というテーマで加藤勇青年部長が発表を行いました。

組織交流事業、経営技術事業、食農教育事業を軸に人間育成、技術向上、社会貢献の実現を目指す為活動を活発化している。

また、発表の締めくくりに「私達が青年部活動に関わる期間は人生でほんの一時。活動で得られた体験や感動は一生の宝になるのではないのでしょうか？その宝をまた、ひとつ見いだし、今後とも切磋琢磨していきます。」と素晴らしい発表ができました。

オホーツク管内全青年部が作成した「1分間ＣＭ」の上映会を行なった後、懇親会で行われたアイムレッシング大会に出場した越智大輔君は惜しくも準決勝で敗退

し、悲願の全道大会出場はなりませんでしたが、来年も挑戦するそうです。

また、研修大会ではオホーツクＪＡ青年部地区役員を務めている佐久間光紀君から11月1日に実施した「農村ファームステイ」の活動報告がありました。

活動実績発表は「優秀賞」、1分間ＣＭコンテストは「佳作」となりましたが、今回作成に携わった部員が一致団結した事は、今後の青年部活動に活かされることでしょう。

(報告 営農相談課 平田弥)



表彰を受ける加藤青年部長

子供の将来を見据えた生活設計講習会

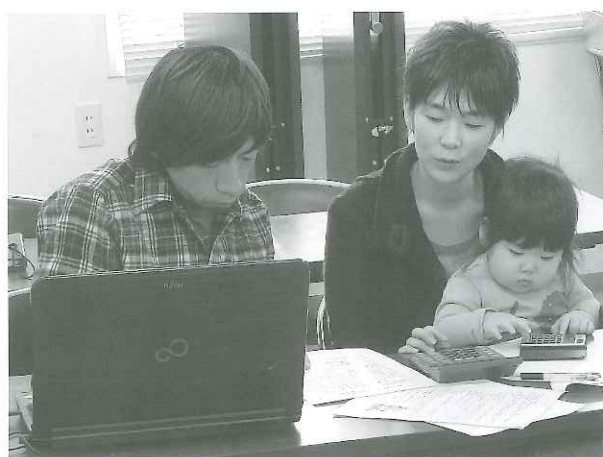
ＪＡゆづべつ町青年部

ＪＡゆづべつ町青年部は、12月8日に農業改良普及センターの山田普及員を講師に招き「生活設計講習会」を開催しました。

子供の成長とともに増えてくる教育費を含め家族全体の家計費を30年先まで試算できるソフト「生活設計ナビ」を活用し、家計費の推移や目標所得額・貯蓄額の見通しなどを9名の参加者それぞれが体感できました。

参加者からは「こんなに教育費がかかるのかと驚いたが、試算結果は現状の所得では足りないもので規模拡大を考えつつムタを省き貯蓄も考えていきたい」といった声が多く聞かれました。

また「結婚当初から妻がやってきた積立貯金や学資保険など子供向けの貯蓄に自分は理解が無く、その金を使えば生活が潤うのにと思っていたが、試算結果を目の当たりにして妻の地道な努力が理解できたので感謝したい」といった声もあり、各々の営農意欲が高まった良い研修会となりました。



第22回総会兼温泉保養終了する

～湧別地区年金友の会～

去る、11月10日から12日の2泊3日で、定期総会兼温泉保養が今年も「塩別つるつる温泉」にて会員50名参加のもと盛大に開催されました。

井戸会長の挨拶から始まり、議長は端場栄吉氏が務め、役員改選を含む提出議案が全件可決され無事総会が終了いたしました。

午後6時からの懇親会では、来賓の友澤組合長より挨拶を賜り、その後、先輩の物故者に黙とうを捧げた後、1日目の懇親会が始まりました。例年通り、川西の小谷喜一郎さんの名司会でビンゴ大会が大いに盛り上がり、カラオケ大会と楽しいひと時過ぎしました。

2日目の午前中には、映画鑑賞パークゴルフ、カラオケと各々が大いに満喫していました。午後からは、恒例の花札大会と映画鑑賞を開催しました。

2日目の夜も、ビンゴゲームとカラオケで最後の懇親会というところで大いに楽しい温泉保養を過ごしました。

2次会、スナックでの3次会と

沢山お美味しいお酒を頂きました。会員の皆様におかれましては、これから元気で来年も楽しい温泉保養に行く事を楽しみに待っています。

新役員は次の通りです。

会長 井戸 定利
副会長 黒田 勝雄・斉藤 安雄
監事 福井 正雄・鈴木紀久雄
理事 東 達夫・渡辺 賢

押野 健一・草薙 春雄
山下 哲夫・小谷喜一郎
白田 稔夫・黒田 紀臣
(報告 金融共済課 清水昭二)



第30回定期総会兼温泉保養～芭露支所利用者年金友の会～

芭露支所利用者年金友の会(清水隆二会長)は、11月11日(12日の日程で、温根湯温泉「大江本家」にて定期総会を開催しました。

270名の会員数となる芭露地区年金友の会は、会員相互の親睦をはかり、健康で楽しい人生と明るい地域社会づくりを目的とし、ゲートボール大会やパークゴルフ大会、旅行定期積金「トラベルプラン」等を企画し運営しています。

本年の総会は68名の会員が出席し、議長の本田勝樹さんの進行により提出された議案すべて可決しました。

役員の任期も2年となつていことから、本総会において役員改選が行われました。清水隆二さんが新会長となり新たなスタートの総会となりました。

(報告 芭露支所

村西博)



満喫!台湾周遊6日間の旅

～芭露支所トラベルプラン～



今年で25回を数えるトラベルプランの旅は、満喫!台湾周遊6日間の旅と題し、11月22日～27日の日程で21人が参加されました。

初日は、芭露支所を正午に

出発し、旭川空港から台湾桃園国際空港到着後、台北に移動し遅い夕食(担仔麵、タンツォーメン)を食べホテルに入りました。

2日目は、龍山寺・中正記念堂など台

北市内を観光し、昼から台湾鉄道にて、花蓮に移動し大理石工場見学・アミ族民族舞踊ショーを見ました。

3日目は、圧巻!太魯閣渓谷を見学しました。大自然の力で出来た切り立った岩は息をのむような絶景が広がっていました。午後からは国内線にて

高雄に移動、高雄市内観光(蓮池潭・寿山公園等)夜には夜市に出かけて行き、普段、見ることのできない活気のある夜市を堪能することができました。

4日目は、台南市内観光し台中に移動し名勝旧跡を観光し九族文化村を見学しました。

5日目は、台中市内観光後、台北に向け台湾新幹線150号にて台北に移動しました。

台北では、故宮博物館を見学、歴史的にも貴重な中国の宝が並んでおりましたが、限られた時間の中でゆっくりと見ることができず特に珍しいものだけを見学させていたいただきました。また、忠烈祠での衛兵の交代式は緊張が張りつめた中での若い軍人たちの一糸乱れぬ交代の儀式の風景の素晴らしいさは今でも脳裏に焼き付いています。

最後の日の夕食は、台北市内のホテルで、農協観光が会社創立25周年を記念しての特別企画「ふれあいカーニバルIN台湾2014」が行われましたが、豪華な料理と数々の



舞台・会場の演出に参加者全員で楽しむことができました。今回の旅行は、台湾の歴史を学びながら日本の良さも再発見でき、移動が大変ではありましたが台湾全土の観光名所をこれでもかと詰め込んだ充実の6日間でした。トラベルプランも第1回目から数えて25回目の旅行となっており、25周年記念の旅行にふさわしい特別企画になりました。今後も参加者の意見を聞きながらトラベルプランを充実させてまいります。(報告 芭露支所 村西博)

地区別営農懇談会開催

11月25日～27日、湧別町農協本所と芭露支所において、平成26年度事業における経過報告及び27年度営農方針を議題とした営農懇談会が開催されました。

今年度の出席は本所42名・支所24名の合計66名となりました。

報告事項としては、生乳の状況、畑作関係収量状況、牧野事業の概要、湧別農業サポート公社事業概要を説明し、事業実績を報告致しました。

また、協議事項として、平成27年度営農方針の説明を行い、組合員からの出された意見を集約し、来年度に向けた営農方針を確認しました。

また、今年度はクミカン清算協議を12月1日～5日まで行い、営農計画協議を12月8日～19日の予定で行いますので、組合員様方々にはご理解・御協力の程宜しく願います。



芭露地区の様子



東地区の様子

税務研修会

11月12日、青色申告会主催の税務研修会が開催されました。

講師に㈱オーレンス総合経営の横山税理士・金子氏・塩谷氏を迎え、税制改正の概要、消費税の実務について研修を行いました。

今年の4月から消費税率が8%に引き上げされた事に伴う変更点や申告時の留意点など、現時点から準備しなければいけない事項が多くあり、非常に参考となる研修となりました。

税の申告時期にはまだ早いですが20名を超える参加があり、税への関心の高さがうかがえました。

青色申告会は今後も皆様の税申告がスムーズに行えるように、講習会・研修会を開催していきますので、参加下さいますよう宜しくお願い致します。



防災センターで

災害の模擬体験

～女性部視察研修～

湧別町農協女性部は、11月11～12日に1泊の視察研修を行ない、15名が参加しました。

1日目は小樽を散策。2日目は札幌市民防災センターで災害バーチャル体験・地震体験・消火体験・煙避難体験・暴風体験で防火・防災に関する知識や、災害が発生した時の行動を学ぶことができました。

今回の体験を通じて、防火防災に対する意識をより高めて頂く事が出来たと思います。



消火体験の様子

農協 お知らせ 版

平成26年度 第12回理事会
平成26年11月22日開催

報告事項

- ①遠紋地区組合長会視察研修
- ②農家経済再建対策室会議
- ③オホーツク農協組合長会
- ④中間棚卸
- ⑤北糖地区甜菜受入状況調査及び
常任委員会
- ⑥年金友の会総会及び温泉保養
(本所地区)
- ⑦年金友の会総会及び温泉保養
(支所地区)
- ⑧農事組合長会議
- ⑨畑作部会、酪農部会、営農・経
済専門委員会
- ⑩よつ葉乳業取締役会
- ⑪平成26年度10月末生乳生産実績
- ⑫自由金利型定期貯金の受入と貯
金残高の推移
- ⑬組合員の営農実績について
- ⑭不良債権比率の目標設定及び行
動計画について

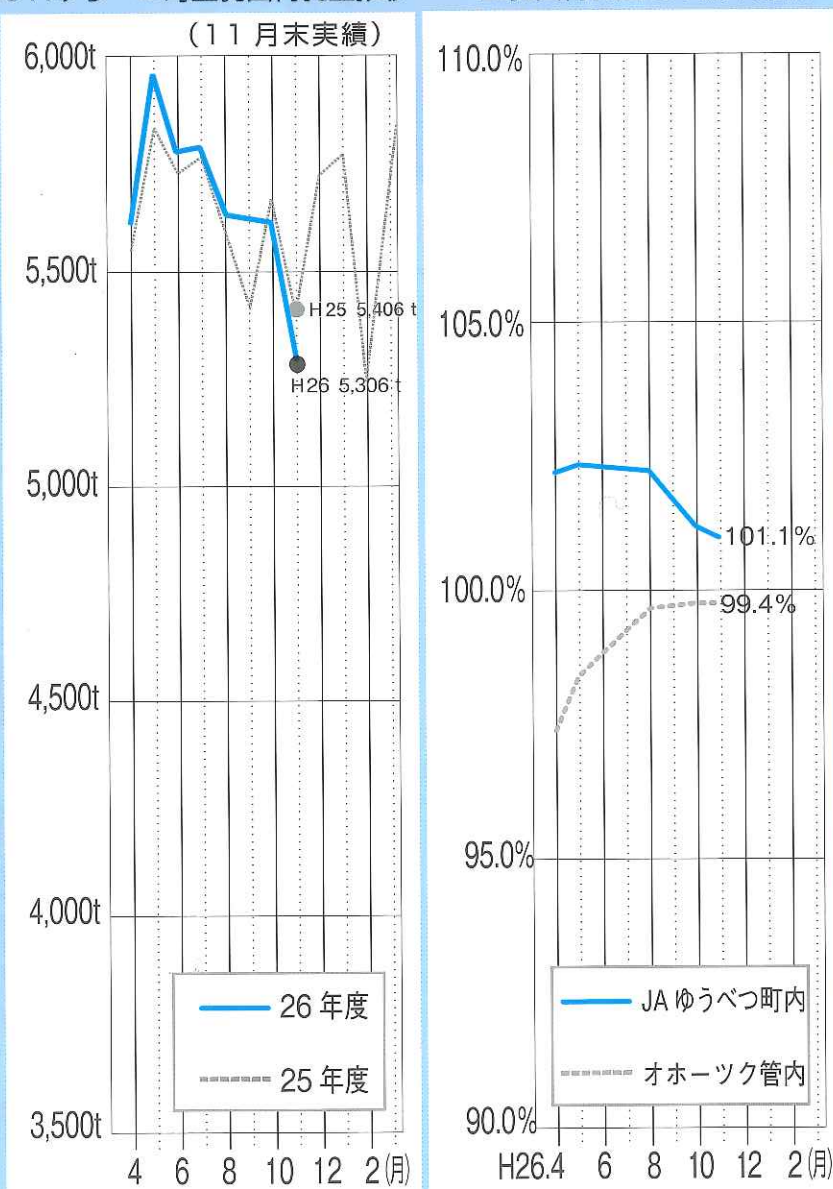
協議事項

- ①組合員の異動について
- ②監事監査の指摘事項に対する回
答について
- ③内部監査の指摘事項に関する回
答について
- ④固定資産の取得について
- ⑤年末手当の支給について
- ⑥平成27年度営農方針(案)に
ついて

平成26年度 生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷乳量推移

生乳出荷乳量との前年比較



年末年始業務日程 ○=業務

月 日(曜日)	本 支 所 金 融 (窓 口)	本 支 所 金 融 (ATM)	整 備 工 場 材	事 務 所 ・ 生 産 資 材	A ー プ 湧 別 店 舗	ス パ ー 芭 露 店 舗	湧 別 給 油 所	芭 露 給 油 所
12/28 日	休 み	休 み	休 み	休 み	○	○	○	○
12/29 月	○	○	○	○	○	○	○	○
12/30 火	○	○	午前中 ○	○	○	○	○	○
12/31 水	休 み	休 み	休 み	休 み	15時 まで ○	午前中 ○	午前中 ○	○
1/1 木	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	○	休 み	休 み
1/2 金	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	○	休 み	休 み
1/3 土	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	○	休 み	○
1/4 日	休 み	休 み	休 み	休 み	○	○	休 み	休 み
1/5 月	○	○	休 み	○	○	○	○	○
1/6 火	○	○	○	○	○	○	○	○